

# TOTO

## 台付自動水栓 (シングル混合水栓、AC100V)

TEK34UP型



商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。



### 1. 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)





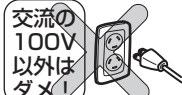
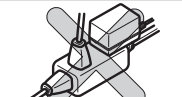

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

 <b>警告</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 <b>注意</b>	この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。

	○は、してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「分解禁止」を示します。
	●は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

 <b>警告</b>	
 <b>禁止</b>	<p>ガタついているコンセントは使わない 火災や感電の原因になります。</p> 
	<p>電源プラグや駆動部・コントローラーに水をかけない 火災や感電の原因になります。</p> 
	<p>指定する電源 (AC100V) 以外では使用しない 火災の原因になります。</p>  <p>交流の100V以外はダメ!</p>
	<p>コンセントや配線器具の定格を超える使いかたをしない たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p> 
	<p>給湯温度は60℃より高温で使用しない 高温の湯が出て、やけどをすることがあります。</p>  <p>60℃以下</p>

 <b>警告</b>	
 <b>禁止</b>	<p>電源プラグおよび電源コードが破損するようなことをしない 傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、挟み込んだり、加熱したりしない 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> 
	<p>電源コードの加工 (切断・継ぎ足し) を行わない 火災や感電の原因になります。</p>
	<p>湯水を逆に配管しない 水を出そうとしても、湯が出てやけどをすることがあります。</p> 
 <b>接触禁止</b>	<p>駆動部の湯側と水側を逆に取り付けない 湯が先に出てやけどをすることがあります。</p> 
	<p>ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない 感電の原因になります。</p> 
 <b>分解禁止</b>	<p>雷が発生しているときは、電源プラグに触れない 感電の原因になります。</p> 
	<p>この説明書に記載された項目以外は分解しない 破損して、やけど・感電・けがをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。</p> 
 <b>水場使用禁止</b>	<p>浴室など湿気の多い場所には設置しない 故障や感電の原因になります。</p> 
 <b>必ず実行</b>	<p>電源プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って引き抜く コードを引っ張るとプラグやコードが傷んで、火災や感電の原因になります。</p> 

**警告**



必ず実行

電源プラグを差し込むときは根元までしっかり差し込む  
火災の原因になります。

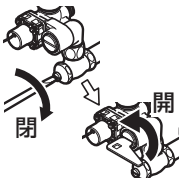


コンセントや電源プラグに給水管などの結露水や使用時の水滴がかからないよう、コンセント取付位置や防水コンセントの使用など配慮すること  
火災や感電の原因になります。



フィルターの掃除をする際は、いきなりふたをゆるめず、必ず止水栓または元栓を確実に閉めてから行う  
また、湯側駆動部が熱くないことを確認する

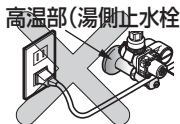
高温の湯が出てやけどをしたり、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



電源コードを伝ってコンセントに水がかからないように  
コンセント付近で必ず床に触れるよう、配線すること  
火災や感電の原因になります。



電源コードは高温部に接触しないようにする  
火災や感電の原因になります。



**注意**



禁止

強い力や衝撃を与えない

破損して、水漏れにより家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



吐水口に汚れた手で触れない

吐水口周辺に一般細菌が増えやすくなり、体調を損なうおそれがあります。



屋外や凍結が予想される場所には設置しない

故障の原因または、部品が破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。



水道水および水道法の水質基準に適合した井戸水を使用する

故障や水漏れの原因となります。  
また、体調を損なうおそれがあります。



必ず実行

**2. 仕様**

品番	TEK34UP型	
電源電圧	AC100V 50/60Hz	
消費電力	待機時/動作時	0.6W(最大値3W)/0.8W(最大値5W)
給水圧力	最低必要水圧/最高水圧	0.05MPa(流動時)/0.75MPa(静止時)
	使用最高温度	60℃以下
	使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水
	使用環境温度	1~40℃
	電源コード長さ	1350mm
	センサーコード長さ	880mm
	駆動部コード長さ	500mm
	給水接続	G1/2
	用途	一般住宅台所用

**3. 部品の確認**

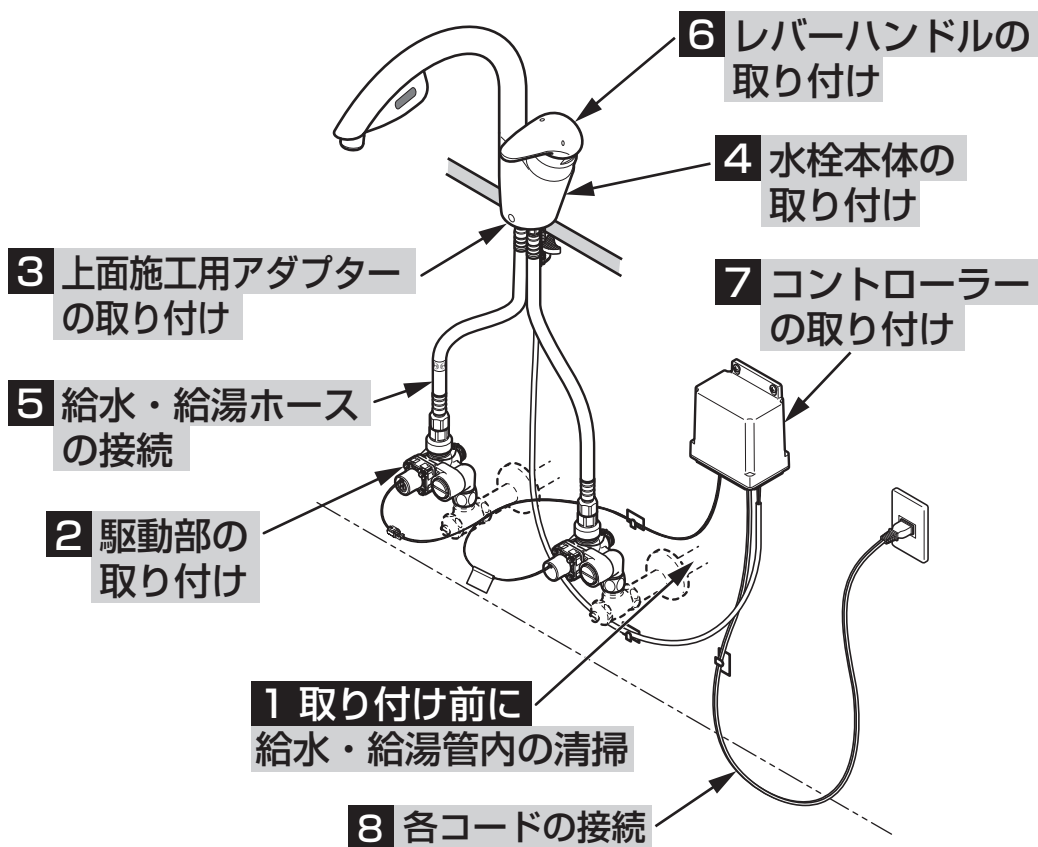
次の部品があることを確認してください。

水栓本体部		駆動部・コントローラー	
その他		<p><b>必ずお客様にお渡しください</b></p>	

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。



# 6-1. 施工手順



## 1 取り付け前に 給水・給湯管内の清掃

**重要**

止水栓を取り付け後、商品を取り付ける前に  
**必ず給水・給湯管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。**

**注意**

給水・給湯管内の清掃を行わない場合、給水・給湯管内のごみ、砂などがフィルターや吐水口に詰まり、以下の事象が発生します。

- ①吐水量が少ない
- ②水が止まらない

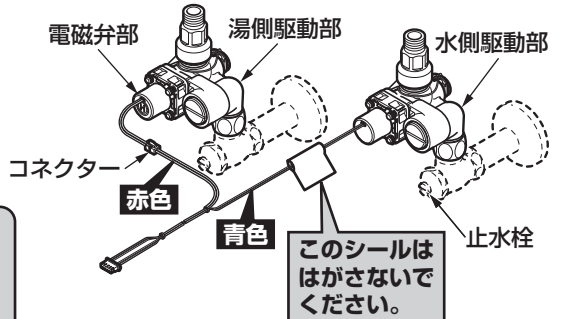
給水・給湯管内の清掃は必ず行ってください。

市販のフレキホースなどとバケツを準備し、止水栓に市販のフレキホースなどを接続して、ゆっくりと止水栓を開け、給水・給湯管内のごみ、砂などを洗い流してください。



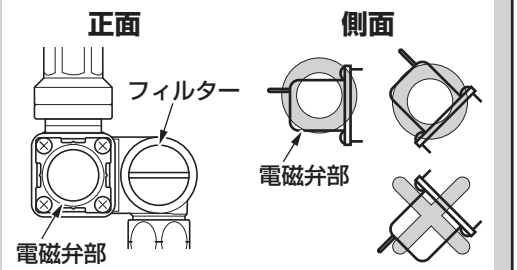
## 2 駆動部の取り付け

- ①駆動部を止水栓に取り付ける。
- ②湯側駆動部のコネクター(白)を駆動部コネクター(赤)にロックするまで確実に差し込む。



**注意**

- 湯側駆動部にはHラベルを貼り付けており、湯側と水側の区別をしていますので、ご注意ください。
- 駆動部は、電磁弁部およびフィルターが正面になるように固定してください。取り合い上、正面にできない場合は、電磁弁部が必ず水平より上向きになるようにしてください。
- コネクターはロックするまで確実に差し込んでください。



## 3-1 上面施工用アダプターの取り付け

### 上面施工用アダプター施工上の注意点

- 上面施工用アダプターは、**正しく取り付け**てください。カウンター内への水漏れや、水栓本体の固定強度が低下して本体にガタが発生するなど、不具合の原因となります。
- ステンレス製カウンターで補強板がない場合は**固めの補強板(合板など)を取り付け**てください。
- 補強板が**十分乾燥した状態**で取り付けてください。
- 補強板に湿り気がある場合は水気をふき取り**ドライヤーで乾か**してください。
- 取付面に**養生シート**などがあれば取り除いてください。
- 取り付け可能なカウンター穴径は **φ33~φ39** です。

裏面へつづく

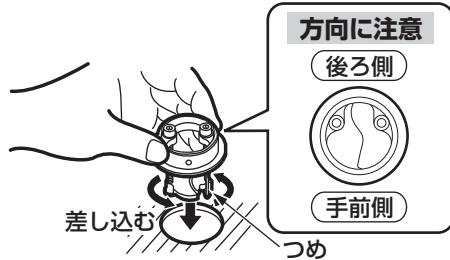
### 3-2 上面施工用アダプターの取り付け (つづき)

① つめを閉じた状態にする。

② 上面施工用アダプターをカウンターの穴に差し込む。

**注意**

上面施工用アダプターの方向に十分に注意してください。



③ 後ろに当たるまでずらす。

**注意**

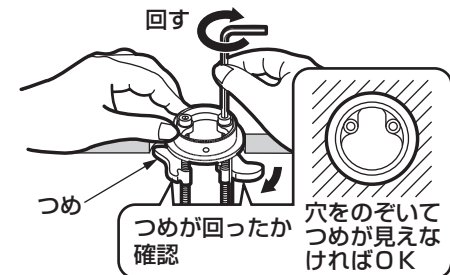
後ろにずらさないで水栓本体のガタツキ発生やカウンター内への水漏れのおそれがあります。



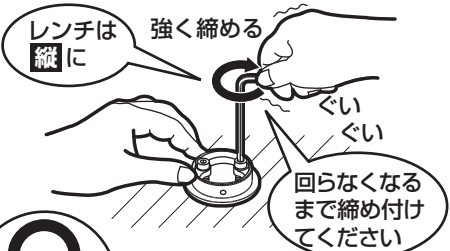
④ つめを広げる。

**注意**

締め付け後は、固定つめが回っていることを確認してください。固定つめが回っていない場合、一度ボルトをゆるめたあと、再度締め直してください。



⑤ 六角棒レンチを縦にしてボルトを左右均等に締める。

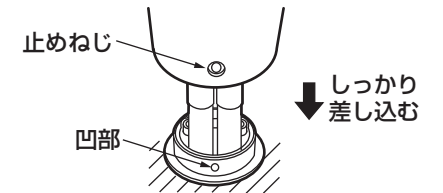


⑥ さらに六角棒レンチを横にしてボルトを1回転増し締めして確実に固定する。



### 4 水栓本体の取り付け

① 水栓本体の止めねじと上面施工用アダプターの凹部をあわせるようにしっかり差し込む。



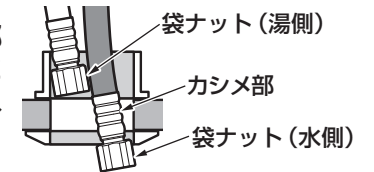
**注意**

水栓本体に浮きがないよう注意してください。

※水栓が入らない場合には、止めねじを少しゆるめてください。

**ポイント**

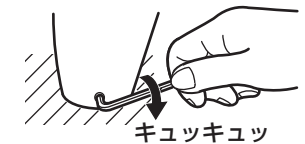
先に給水ホースを通し、給水ホースのカシメ部と給湯ホースの袋ナットが重ならないように通す。水栓本体を斜めに傾けながら給湯ホースを挿入するとスムーズに入ります。



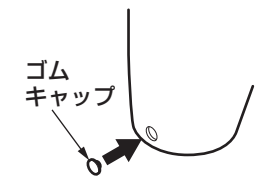
**注意**

ホースを上面施工用アダプターに通す際は、ホースが折れないように注意してください。ホースが折れると十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。

② 水栓本体の止めねじを締めて水栓本体を固定する。



③ 止めねじの穴にゴムキャップを押し込む。

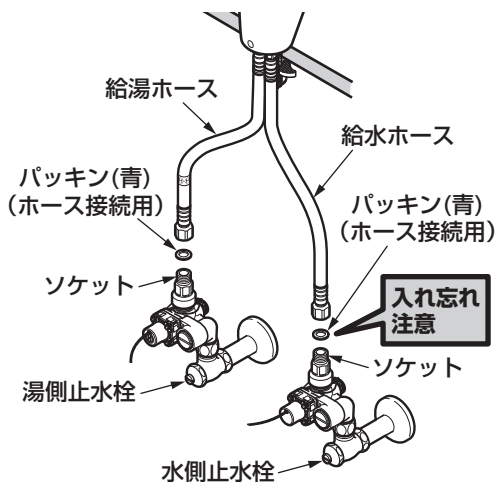


## 5 給水・給湯ホースの接続

給水・給湯ホースにパッキンがあることを確認し、ソケットに接続する。

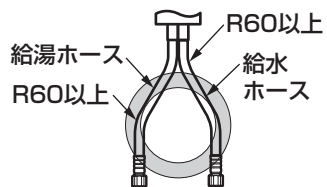
## 注意

給水・給湯ホースのゆるみ防止のため、給水・給湯ホースとソケットは動かないように確実に固定してください。



## 給水・給湯ホース施工上の注意点

- ホースを必要以上の力で曲げて折らないように注意してください。ホースの最小曲げ半径は60mmです。それよりも小さく曲げて使用すると、ホースが折れ、十分な流量が出ない場合や破損・水漏れのおそれがあります。
- ホースを水栓本体端面から極端に屈曲して施工しないでください。
- ホースを無理に引っ張らないでください。ホースが折れる可能性があります。
- ホース同士の不要な接触は避けてください。外部補強層の摩擦による外傷でホース性能の劣化の可能性があります。

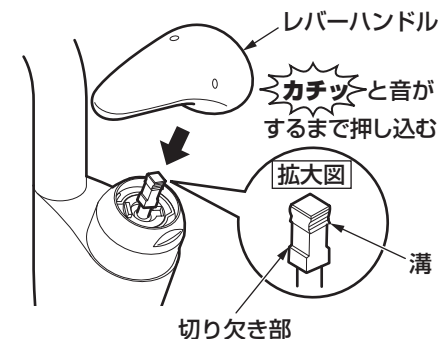


## 6 レバーハンドルの取り付け

- ①レバーハンドルとレバーの方向に注意し、押し込む。
- ②レバーハンドルが容易に抜けないことを確認する。

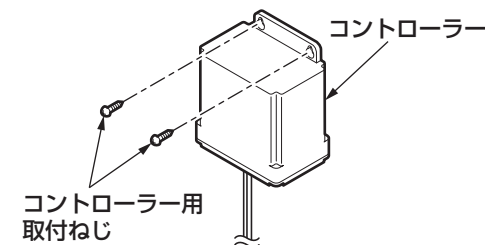
## 注意

レバーの切り欠き部とレバーハンドルの先端の向きをあわせる



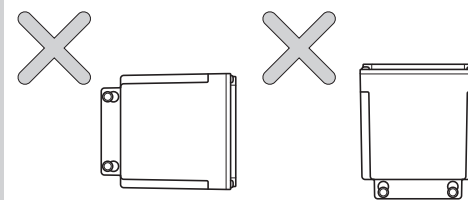
## 7 コントローラーの取り付け

コントローラーをコントローラー用取付ねじ(2本)で、駆動部よりも高い位置になるよう、キャビネット内の横の面または奥の面に取り付ける。



## 注意

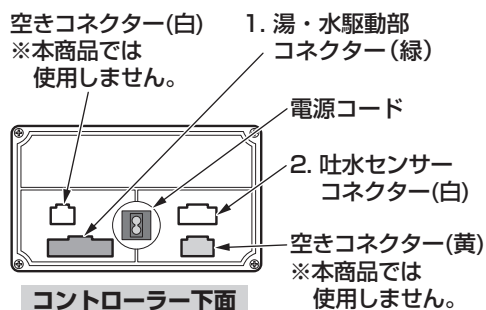
コントローラー内に水が入らないようにするため、上下逆向きや横向きに取り付けしないでください。



## 6-4.

### 8 各コードの接続

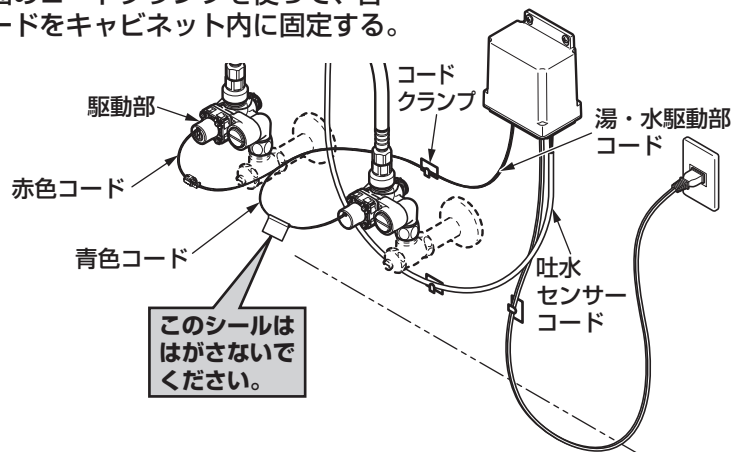
- ①電源プラグがコンセントに差し込まれていないことを確認する。
- ②各コードのコネクターをコントローラ下側のコネクターに確実に差し込む。  
【各コードコネクターを接続する順番】  
1. 湯・水駆動部コネクター（緑）  
2. 吐水センサーコネクター（白）



#### 注意

コネクターは真っすぐ差し込んでください。斜めに差し込むとコネクターピンが変形し、動作不良の原因になります。

- ③電源コードを電源コンセントの位置まで配線する。
- ④同梱のコードクランプを使って、各コードをキャビネット内に固定する。



#### 注意

- すべてのコードは安全のため、通水部に接触しないように固定してください。
- 電源コードを伝ってコンセントに水がかからないよう、電源コードはコンセント付近で必ず床に触れるようにしてください。
- 吐水センサーコードを強く引っ張らないようにしてください。
- 周辺部材との干渉や引っかかりがないようにコードクランプで固定してください。

## 7. 試運転および調節

### 1. 試運転

取り付けが完了したあと、次の方法で試運転を行ってください。

#### ①電源を入れる

電源プラグをコンセントに差し込んでください。

#### ②手動弁の状態確認

駆動部手動弁にストッパーが付いているか確認する。

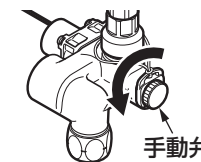
#### 注意

湯側の手動弁は熱くなっていることがありますので十分に注意してください。



#### ③水を出す・止める

止水栓を開き、レバーハンドルを上げて吐水状態にしてください。(吐水状態でも水は出ません) センサーに手を近づけると水が出ます。もう一度センサーに手を近づけると止まります。(水が止まらない場合は、手動弁を左いっぱいに戻し、完全に「閉」になっているか確認してください。)



#### ④吐水状態の確認

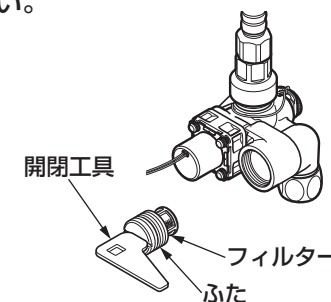
レバーハンドルを右いっぱいに戻すと水、左いっぱいに戻すと湯が出ることを確認してください。

### 2. フィルターの掃除

取り付け後は必ずフィルターを掃除してください。

フィルターが詰まると流量が少なくなったり、十分な機能が発揮されなくなります。また、お客様にも時々掃除していただくようにご説明願います。(詳しくは、取扱説明書の「日ごろのお手入れ」を参照ください。)

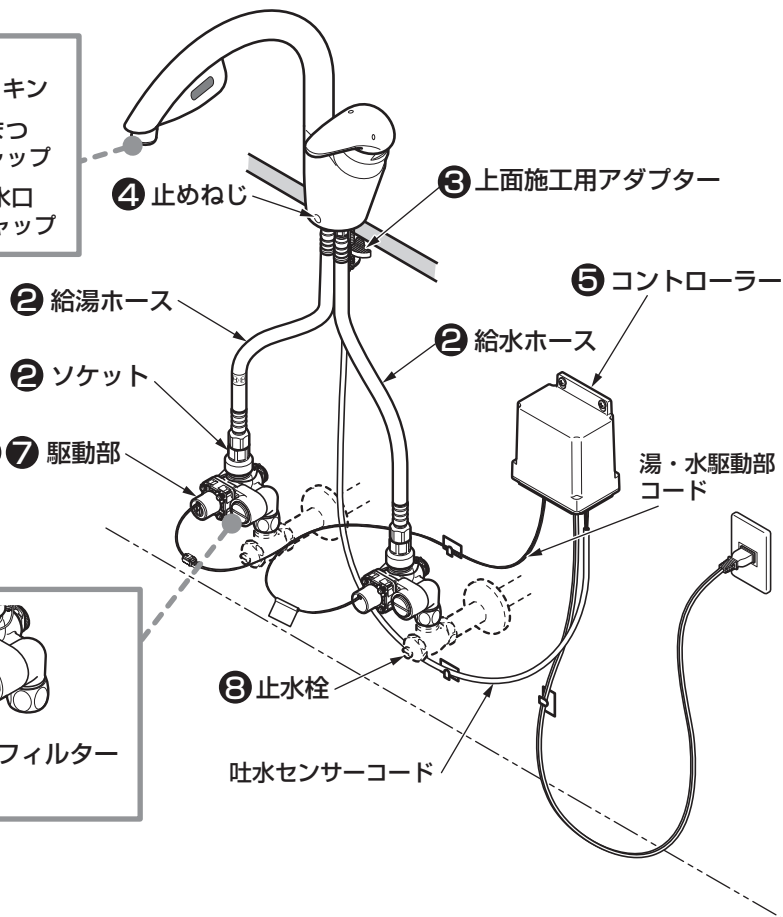
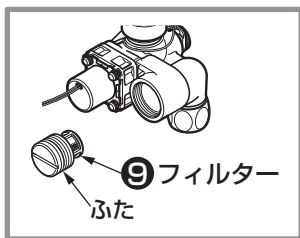
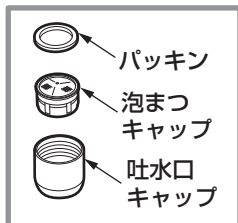
※フィルターを掃除する際は、必ず止水栓または元栓を確実に閉めたあと、ふたを外してください。また、湯側駆動部が熱くないことを確認してください。



# 8. 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。

## ⑨ 吐水口



## 水漏れの確認

水漏れがないか確認してください。

① 駆動部の水漏れはないですか？

↳ 6.1.-2 駆動部の取り付け 参照

② 給水・給湯ホースは袋ナットでソケットに確実に接続されていますか？

↳ 6.3.-5 給水・給湯ホースの接続 参照

## ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

③ 上面施工用アダプターはしっかり固定されていますか？

↳ 6.1.-3 上面施工用アダプターの取り付け 参照

④ 水栓本体の止めねじのゆるみはないですか？

↳ 6.2.-4 水栓本体の取り付け 参照

## コネクターの確認

コネクターがしっかり差し込まれているか確認してください。

⑤ コネクターはしっかり差し込まれていますか？

↳ 6.4.-8 各コードの接続 参照

## 流量および吐水温度の確認

流量が少ないときや、温度調節がうまくできない場合は、次の項目を確認してください。

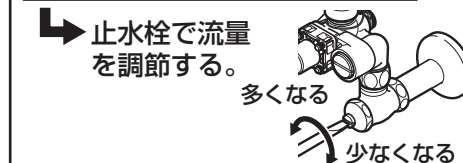
⑥ 駆動部は逆に接続されていませんか？

↳ 6.1.-2 駆動部の取り付け 参照

⑦ 手動弁は左いっぱいに戻っていますか？

↳ 7 1. 試運転 参照

⑧ 止水栓は開いていますか？



⑨ フィルター・吐水口のごみ詰まりはないですか？

↳ フィルター・吐水口の掃除をする。  
7 2. フィルターの掃除 参照



※同梱の取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。